

～ 新台の戦闘力ダウンで市場が硬直化～ オイ、パチスロ不況がくるぞ!!

グローバルアミューズメント株式会社
代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。

2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして突出した
存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に特化した、
コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。
現在、ホール&メーカーの双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。



皆様、こんにちは。グローバルアミューズメント株式会社 代表取締役 青山真将樹です。

本日は、今後のパチスロ市場に対する考察記事をご提供いたします。
よろしくお願い申し上げます。

■いよいよ新台市場が“わずか1割規模”へ!!

マーケットは超停滞、パチスロ不況へ向かっているぞ!!

以下は“バジリスクⅢ導入週”の「新台&発売年別 パチスロ総イン枚数シェア」です。

■11月末～12月7日 パチスロ総イン枚数シェア

	機種数	総IN枚数シェア	総粗利シェア	機種名
新台(9～11月新台)	18	18.10%	14.90%	バジⅢ、北斗修羅等
その他2016年機種	22	8.20%	8.50%	ファンキージャグラー、戦国乙女2等
2015年機種	39	21.50%	21.80%	マイジャグⅢ、ゴッド凱旋、北斗強敵等
2014年以前機種	69	52.20%	54.80%	バジ絆、沖ドキ、アナザーゴッド等
合計	148	100.00%	100.00%	

8月以降、“ボーナス込みで純増2.0枚上限規制”が始まりましたが、商品性に対する影響は

想定以上に大きそうです。10月に投入された「北斗修羅」が惨敗、11月末に投入された「バジリスクⅢ」もやはり市場の活性化には繋がらないようです。先週のパチスロ稼働では新台(発売3ヶ月以内)18機種合計で総イン枚数シェアで18.1%、総粗利シェアで14.9%という状況となりました。内、導入初週のバジリスクⅢが総イン枚数シェア 7.4%、総粗利シェア3.4%ですが、多分、バジⅢは総イン枚数で3%～4%程度に落ち着くと思いますので、新台の総イン枚数シェアは間もなく15%を切るでしょう。来年は、大型機種の販売台数も多くて3～5万台レベルとなりますので、今後もパチスロ新台市場の縮小は続くと思います。間違いなく、来年の春先頃には新台市場は“パチスロ部門の1割程度”になっていくと予想されます。今後のパチスロ市場は以下のようにになると想定しています。

【今後のパチスロ市場 動向予測】

①サラリーマン層等、勝負客が更に減り、勝率重視客が中心、 プレイヤーが更にお金を使わない傾向が強まる。

→“暇な若者とスロッター”が客層の中心となっていく。
高設定を入れられる店にしか稼働がつかない。

②新台はTSが浅く、ART比率低め、出率甘めのA+ARTしか動かない。

→ヒキ勝負要素が少なくなり、“いい店で粘って打てば勝てる”
プロもどき用の機械しか動かなくなる。

③特定機種を除き、旧基準機も徐々に稼働低下。台売は更に減。

→バジ絆、沖ドキを除き、旧基準機の稼働は低下していく。高射伴プレイヤー
がパチンコ部門に流れるため、土日のゴッドも徐々に動かなくなってくる。

2016年は業界内では「パチスロ>パチンコ」と言われていましたが、現状、潮目は完全に「パチンコ>パチスロ」に変化していると思います。2017年11月には5.9号機規制も控え、更にパチスロはスペックダウンしますので、2017年～2018年の2年間は完全に“パチスロ不況”になっていくと考えます。3番店以下のお店は早めに“トップレート”を11.5スロ化”等、商品性以外でお店に特徴を持たすことを検討した方が良いでしょう。ぜひ、参考にしてください。本日も最後までお読み頂きありがとうございました。

本会員の皆様、ホール機械選定者メーカーブランド評価アンケート実施中です!! 本日中にご回答お願いします!!